

令和6年度  
静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会  
遠州流域治水協議会

第1回 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会  
開催結果及び今後の懇談会の展開方針

【目次】

- |                |      |
|----------------|------|
| 1. 開催結果        | p. 1 |
| 2. 今後の懇談会の展開方針 | p. 5 |

# 1. 第1回 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 開催結果

## 【開催目的】

協議会における取組実施上の課題解決に向けて、民間企業等と連携し、より一層協議会の取組を推進・深化すること、また、民間企業等との連携により、地域の安全・安心を目指すことを目的として、「令和6年度 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会・遠州流域治水協議会 第1回 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会」を開催しました。会議の中で、**協議会構成員の課題と民間企業等による対応策**などを議論しました。

## 【開催概要】

日時: 令和7年2月18日(火) 15:00~16:30

会場: 浜松河川国道事務所、WEB会議(ZOOM)

参加機関: 下記参照

議事次第:

開会挨拶

1. 遠州流域治水オフィシャルサポーター制度の概要
2. 懇談会の趣旨と参加企業によるPR
3. 意見交換会
4. 振り返りと今後の予定

## ■ 配付資料

議事次第、出席者名簿、座席図

- 資料1 : 遠州流域治水オフィシャルサポーター制度の概要  
資料2-1 : 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会の趣旨と参加企業  
資料2-2 : 企業紹介  
資料3 : 構成員が抱える課題の情報共有  
資料4 : 今後のスケジュール  
参考資料1 : 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 意見交換の流れ  
参考資料2 : 遠州流域治水オフィシャルサポーター募集チラシ  
参考資料3 : 遠州流域治水オフィシャルサポーター制度 規約  
参考資料4-1 : 【大規模氾濫減災協議会】今年度の進捗状況や課題の対応策  
参考資料4-2 : 【流域治水協議会】今年度の進捗状況や課題の対応策  
参考資料5 : 両協議会の取組項目



会議の様子



会議の様子(WEB)

# 1. 第1回 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 開催結果

## 構成員の参加状況



国土交通省  
浜松河川国道事務所



静岡県 交通基盤部  
河川砂防局 土木防災課



静岡県中遠農林事務所



静岡県 交通基盤部  
袋井土木事務所



浜松市



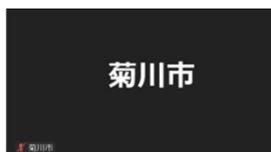
掛川市



袋井市



湖西市



菊川市



森町



設楽町



東栄町



天竜浜名湖鉄道  
株式会社

## 民間企業の参加状況



スズキ  
株式会社



株式会社静岡新聞社  
静岡放送株式会社



マックスバリュ東海  
株式会社



アロン化成  
株式会社



株式会社  
JX通信社



朝日航洋  
株式会社



株式会社  
エムスクエア・ラボ



遠州鉄道  
株式会社

参加機関: 22機関 (():補講)

構成員 : 浜松市、掛川市、袋井市、湖西市、菊川市、森町、設楽町、東栄町、  
静岡県中遠農林事務所、静岡県交通基盤部河川砂防局、  
静岡県袋井土木事務所、国土交通省浜松河川国道事務所、  
天竜浜名湖鉄道株式会社  
(静岡県経営管理部西部地域局)

民間企業 : スズキ株式会社、株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社、  
マックスバリュ東海株式会社、アロン化成株式会社、  
株式会社JX通信社、朝日航洋株式会社、  
株式会社エムスクエア・ラボ、遠州鉄道株式会社

# 1. 第1回 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 開催結果

## 《議事概要》

### 1. 遠州流域治水オフィシャルサポーター制度の概要

【事務局】協議会および流域治水オフィシャルサポーター制度の概要について説明した。

### 2. 懇談会の趣旨と参加企業によるPR

【事務局】流域治水オフィシャルサポーター懇談会の趣旨を説明した。また、参加企業より会社紹介をしていただいた。

### 3. 意見交換会

#### トピック①:リアルタイムの防災情報収集

- リアルタイムでの防災情報収集が難しいという協議会構成員の課題に対し、JX通信社から、利用者の安全安心の確保に寄与するため、災害・事件・事故等のSNS投稿情報の一部をほぼリアルタイムで配信しているサービス「FASTALERT」についてご紹介いただいた。
- また、朝日航洋が持つ上空からの情報や、車両のドライブレコーダー等を活用した情報収集の可能性等を議論した。

#### トピック②:防災情報の周知

- 住民への防災情報の周知方法や普及啓発、防災意識向上という協議会構成員の課題に対し、静岡新聞社からはウォーキングイベント等と掛け合わせた防災情報の周知の事例(まち歩きで学ぶ防災)、JX通信社からは無料ニュースアプリ「NewsDigest」の活用事例(リアルタイム防災マップ)、朝日航洋からは体験型の防災授業等の事例をご紹介いただいた。
- テキスト情報だけでなく自分の目で見る・体験することで、より防災情報に対する関心が強くなるのではないかと意見が多く挙げられた。

#### トピック③:避難確保計画の作成・訓練実施の促進

- スズキからセニアカーについてご紹介いただき、避難時および地域の移動手段としての活用の可能性等を議論した。また、セニアカー導入費が課題であることも挙げられた。

#### トピック④:水田貯留の推進

- 水田貯留に対する意識醸成や理解促進という構成員の課題に対し、営農者がメリットを感じるようなシステムを考えていく必要があること、営農に影響がないことを検証するために年間を通した実証試験をするべきとの意見をいただいた。

#### トピック⑤:その他

- エムスクエア・ラボから災害時の情報提供に「やさいバス」で定期的に通るルート of 災害情報を活用できそうであるとの意見をいただいた。
- マックスバリュ東海から物流の観点で通行可能な道路の情報は迅速に収集したいとの意見をいただいた。
- 浜松河川国道事務所から防災イベント等に関心のない人にいかに知ってもらうかが課題であるとの意見をいただいた。また、夜のような情報の少ない部分を埋めていくことが重要であるとの意見をいただいた。

### 4. 振り返りと今後の予定

【事務局】今後のスケジュールを説明した。本懇談会の結果は、内容を確認いただいたうえで協議会へ報告する予定である。

【事務局】ご意見・ご要望等があれば事務局までご連絡いただきたい。

## 2. 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 今後の展開方針

### 1. 第1回懇談会の振り返り

項目	振り返り
意見交換のテーマについて	✓ 会議のテーマが多く、各テーマに対する意見交換の時間が十分に確保できなかった。
意見交換の進行方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業の技術のPRをメインに意見交換を展開するべきであった。</li> <li>✓ 自治体からの課題説明は事前に企業へ共有し、企業が課題解決に向けた技術提案を行い、それに対して自治体が関心を持ちやすい形で意見交換を展開するべきであった。</li> </ul>
意見交換の方向性の事前共有	✓ 事前に自治体及び企業へ資料を送付するとともに、意見交換の方向性を事前に共有することが不十分であった。



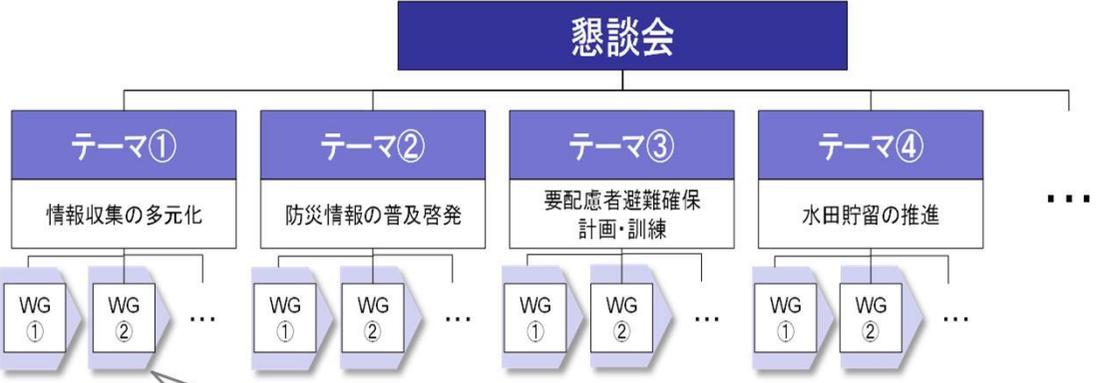
### 2. 今後の懇談会の展開方針

項目	展開方針
<b>【案①】 個別ワーキンググループ(WG)で実施</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各テーマごとに少人数の個別WGを実施し、参加者が話しやすい環境を整える。自治体及び企業が参加・発言しやすい形式で会議を実施する。</li> <li>✓ 複数回の個別WGを重ねることで、遠州流域治水オフィシャルサポーター登録企業が増加してから全体会議を開催する。</li> </ul>
<b>【案②】 第1回と同様の運営方法で実施</b>	✓ 第1回懇談会の反省点を踏まえ、企業の技術PRをメインとした懇談会を再度実施する。
<b>【その他】</b>	✓ 次年度のフォローアップ調査において、構成員自身が抱える課題に対して、どのような技術を持つ企業に魅力を感じるかといった意見を収集する。この調査結果をもとに、今後の懇談会をより実効性のあるものとする。

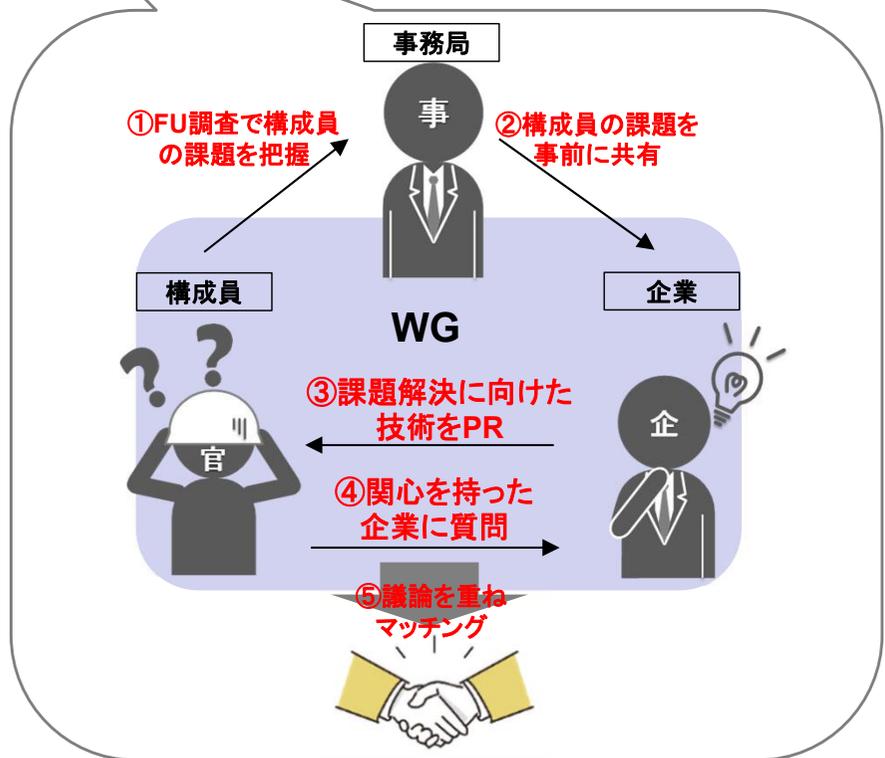
# 2. 遠州流域治水オフィシャルサポーター懇談会 今後の展開方針

## 2. 今後の懇談会の展開方針(案①)

今後の懇談会の組織構成(案)



今後の懇談会WGの運営方針(案)



今後の懇談会のロードマップ(案)

